



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場会社名 日本曹達株式会社

上場取引所 東

コード番号 4041 URL <http://www.nippon-soda.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杵淵 裕

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 山本 聡

TEL 03-3245-6053

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 86,271 | △2.7 | 2,330 | 52.2 | 5,970 | △19.3 | 4,067 | △27.6 |
| 22年3月期第3四半期 | 88,678 | △22.1 | 1,531 | △64.7 | 7,398 | △14.3 | 5,618 | △10.5 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 26.74 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 36.93 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 167,596 | 84,092 | 47.3 | 521.25 |
| 22年3月期 | 172,795 | 84,173 | 45.9 | 521.89 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 79,289百万円 22年3月期 79,390百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | 8.00 | 8.00 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 23年3月期(予想) | | | | 6.00 | 6.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 127,000 | △4.1 | 4,000 | △24.9 | 8,600 | △33.4 | 6,200 | △27.7 | 40.76 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 23年3月期3Q | 154,317,630株 | 22年3月期 | 154,317,630株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期3Q | 2,202,273株 | 22年3月期 | 2,196,067株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 23年3月期3Q | 152,118,342株 | 22年3月期3Q | 152,124,155株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) セグメント情報 | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨秋以降輸出や生産が減少に転じ、個人消費も弱含む等、回復基調にあった景気はこのところ足踏み状態となっております。

化学業界におきましては、石油化学製品を中心にアジア向け輸出が堅調なものの国内需要は低迷し、為替相場の円高進行も加わり、引き続き不透明な経営環境にありました。

このような状況のもと当社グループといたしましては、平成32年に迎える創業100周年を見据えた長期経営ビジョン「Chemigress To 100」とともに、その達成に向けた第一ステップとして「中期経営計画（平成22年度～24年度）」を策定する一方、製品の拡販や新規開発品の上市に積極的に取り組みましたが、前期末をもって飼料添加物メチオニンの販売を終了した影響等により、当累計期間の売上高は862億7千1百万円（前年同期比2.7%減収）となりました。

利益に関しましては、営業利益は、農業薬品の販売構成差や子会社の収支改善等により23億3千万円（前年同期比52.2%増益）、経常利益は、持分法による投資利益を計上したこと等により59億7千万円（前年同期比19.3%増益）、また、四半期純利益は、投資有価証券評価損や資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を特別損失に計上したこと等により40億6千7百万円（前年同期比27.6%減益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[化学品事業]

化成品や機能材料は堅調に推移いたしましたが、前期末をもって飼料添加物メチオニンの販売を終了した影響に加え、工業薬品の販売価格下落もあり、当累計期間の [化学品事業] の売上高は229億4千1百万円となりました。

[農業化学品事業]

除草剤「ホーネスト」が競争激化により減少したものの、前期末に買収した殺虫剤「ロムダン」の販売開始や殺虫剤「モスピラン」の輸出増加により、当累計期間の [農業化学品事業] の売上高は216億8百万円となりました。

[商社事業]

各種有機薬品が堅調に推移し、当累計期間の [商社事業] の売上高は269億2千4百万円となりました。

[運輸倉庫事業]

新規の取扱いに加え、国内及び輸出入貨物の回復により、当累計期間の [運輸倉庫事業] の売上高は28億9千8百万円となりました。

[建設事業]

プラント建設工事が堅調に推移し、当累計期間の [建設事業] の売上高は75億1千4百万円となりました。

[その他]

非鉄金属事業を中心に需要が回復し、当累計期間の [その他事業] の売上高は43億8千2百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ、流動資産で受取手形及び売掛金が55億円減少し、たな卸資産が31億4千1百万円増加いたしました。固定資産は、投資有価証券評価損9億7千3百万円を計上したこと等により、投資有価証券が24億3千8百万円減少いたしました。

その結果、資産合計では前連結会計年度末に比べ51億9千9百万円減少し、1,675億9千6百万円となりました。

負債につきましては、借入金が57億6千1百万円減少したこと等により、負債合計では前連結会計年度末に比べ51億1千8百万円減少し、835億3百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は47.3%と、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は108億4千8百万円（前年同期比6.3%増）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益49億5千2百万円（非キャッシュ項目である持分法による投資利益43億8千2百万円を含む）に加え、売上債権の回収51億6千8百万円、配当金の受取額33億8千6百万円等が生じたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は53億6千8百万円（前年同期比1.5%増）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出55億3千2百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は74億5千1百万円（前年同期比73.0%増）となりました。これは主として、借入金の減少57億6千1百万円や配当金の支払い12億2千8百万円等によるものであります。

(現金及び現金同等物の四半期末残高)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は113億2千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億6千8百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成22年11月1日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ58百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、625百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は767百万円であります。

2. 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,343 | 13,718 |
| 受取手形及び売掛金 | 37,492 | 42,993 |
| たな卸資産 | 24,538 | 21,397 |
| 繰延税金資産 | 2,090 | 1,317 |
| その他 | 3,060 | 3,007 |
| 貸倒引当金 | △12 | △19 |
| 流動資産合計 | 78,513 | 82,414 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 16,251 | 15,683 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 14,010 | 13,134 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,463 | 1,561 |
| 土地 | 14,785 | 14,785 |
| リース資産（純額） | 626 | 722 |
| 建設仮勘定 | 300 | 1,252 |
| 有形固定資産合計 | 47,438 | 47,139 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,170 | 2,346 |
| その他 | 1,542 | 1,327 |
| 無形固定資産合計 | 3,712 | 3,673 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 31,339 | 33,778 |
| 長期前払費用 | 408 | 380 |
| 繰延税金資産 | 1,378 | 1,335 |
| その他 | 4,869 | 4,132 |
| 貸倒引当金 | △65 | △59 |
| 投資その他の資産合計 | 37,931 | 39,566 |
| 固定資産合計 | 89,082 | 90,380 |
| 資産合計 | 167,596 | 172,795 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 22,182 | 21,056 |
| 短期借入金 | 33,164 | 36,154 |
| 未払法人税等 | 324 | 1,266 |
| 賞与引当金 | 911 | 2,293 |
| その他 | 6,734 | 6,036 |
| 流動負債合計 | 63,316 | 66,805 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 12,521 | 15,292 |
| 繰延税金負債 | 760 | 309 |
| 退職給付引当金 | 2,300 | 2,548 |
| 役員退職慰労引当金 | 489 | 490 |
| その他 | 4,114 | 3,176 |
| 固定負債合計 | 20,186 | 21,816 |
| 負債合計 | 83,503 | 88,622 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 29,166 | 29,166 |
| 資本剰余金 | 26,094 | 26,094 |
| 利益剰余金 | 27,170 | 24,701 |
| 自己株式 | △591 | △589 |
| 株主資本合計 | 81,840 | 79,373 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 817 | 1,213 |
| 繰延ヘッジ損益 | △48 | △73 |
| 為替換算調整勘定 | △3,319 | △1,122 |
| 評価・換算差額等合計 | △2,550 | 17 |
| 少数株主持分 | 4,803 | 4,782 |
| 純資産合計 | 84,092 | 84,173 |
| 負債純資産合計 | 167,596 | 172,795 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 88,678 | 86,271 |
| 売上原価 | 69,469 | 66,376 |
| 売上総利益 | 19,208 | 19,894 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,677 | 17,563 |
| 営業利益 | 1,531 | 2,330 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13 | 10 |
| 受取配当金 | 275 | 273 |
| 受取賃貸料 | 359 | 363 |
| 持分法による投資利益 | 5,994 | 4,382 |
| その他 | 682 | 623 |
| 営業外収益合計 | 7,324 | 5,654 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 626 | 518 |
| 不動産賃貸原価 | 218 | 231 |
| 為替差損 | — | 683 |
| その他 | 613 | 580 |
| 営業外費用合計 | 1,458 | 2,014 |
| 経常利益 | 7,398 | 5,970 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 595 |
| その他 | 4 | 17 |
| 特別利益合計 | 4 | 613 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 148 | 973 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 567 |
| 固定資産廃棄損 | 397 | — |
| その他 | 45 | 90 |
| 特別損失合計 | 591 | 1,631 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,811 | 4,952 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 455 | 858 |
| 法人税等調整額 | 619 | △105 |
| 法人税等合計 | 1,074 | 753 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 4,198 |
| 少数株主利益 | 118 | 131 |
| 四半期純利益 | 5,618 | 4,067 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,811 | 4,952 |
| 減価償却費 | 4,685 | 4,534 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △1,142 | △1,381 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △363 | △247 |
| 受取利息及び受取配当金 | △288 | △284 |
| 支払利息 | 626 | 518 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △5,994 | △4,382 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 4,779 | 5,168 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △3,099 | △3,234 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 3,293 | 1,580 |
| その他 | 500 | 2,329 |
| 小計 | 9,808 | 9,553 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,352 | 3,397 |
| 利息の支払額 | △644 | △521 |
| 法人税等の支払額 | △1,306 | △1,580 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 10,209 | 10,848 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,726 | △5,532 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △55 | △108 |
| その他 | △504 | 272 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,287 | △5,368 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △2,300 | △2,225 |
| 長期借入れによる収入 | 6,000 | 2,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △6,575 | △5,536 |
| 配当金の支払額 | △908 | △1,228 |
| その他 | △523 | △461 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,306 | △7,451 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △20 | △397 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 595 | △2,368 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 17,521 | 13,696 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 18,116 | 11,327 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

① 当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、各製品・サービス別に、それらに責任を有する本社事業部または子会社が、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、本社において「化学品事業」「農業化学品事業」セグメントに責任を持つそれぞれの事業部と、子会社として独立して「商社事業」「運輸倉庫事業」「建設事業」セグメントに責任を持つそれぞれの子会社の5つを報告セグメントとしております。

② 各報告セグメントに属する主要製品は以下のとおりであります。

| 事業区分 | | 主要製品等 | |
|---------|----------------|------------------------------|--|
| 報告セグメント | 化学品事業 | 工業薬品 | カセイソーダ、液化塩素、塩酸、カセイカリ、炭酸カリ、青化ソーダ、青化カリ、塩化アルミ、オキシ塩化磷、三塩化磷 |
| | | 化成品 | 金属ソーダ、アルコラート、有機チタン、ラクテット、各種硫黄誘導体、特殊イソシアネート |
| | | 染料製品 | PSD、顔色剤 |
| | | 機能材料 | 日曹PB、VPポリマー、透明導電ガラス、ビストレイター |
| | | エコケア製品 | 日曹ハイクロン、日曹メルサン、テイクワン、ハイジオン、ヌメリとり剤 |
| | | 医薬品・医薬中間体 | DAMN、ファロペネムナトリウム、AOSA、HPC、MAP |
| | 農業化学品事業 | 殺菌剤 | トップジンM、トリフミン、パンチョTF、ストロビー、ベフラン、バルコート |
| | | 殺虫・殺ダニ剤 | モスピラン、ニッソラン、ロムダン、コテツ、フェニックス、ピラニカ |
| | | 除草剤 | ナブ、ホーネスト、クレトジム、ピリブチカルブ、コンクルード |
| | | 工業用殺菌剤 | ベストサイド、バイオカット、ミルカット |
| | | その他 | くん煙剤 |
| | 商社事業 | 化学品、機能製品、合成樹脂、産業機器・装置、建設関連製品 | |
| | 運輸倉庫事業 | 倉庫・運送業務 | |
| 建設事業 | プラント建設、土木建築 | | |
| その他 | 非鉄金属事業、環境開発事業等 | | |

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3 |
|---------------------------|-----------|-----------------|----------|------------|----------|---------|--------------|---------|--------------|------------------------------------|
| | 化学品 事業 | 農業 化学品 事業 | 商社 事業 | 運輸倉庫 事業 | 建設 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 22,941 | 21,608 | 26,924 | 2,898 | 7,514 | 81,888 | 4,382 | 86,271 | — | 86,271 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 10,143 | 417 | 3,597 | 999 | 4,855 | 20,014 | 2,428 | 22,442 | △22,442 | — |
| 計 | 33,085 | 22,025 | 30,522 | 3,898 | 12,370 | 101,903 | 6,811 | 108,714 | △22,442 | 86,271 |
| セグメント利益 | 145 | 565 | 188 | 278 | 1,106 | 2,284 | 161 | 2,446 | △115 | 2,330 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。